

令和5年住宅・土地統計調査に向けた 標本設計の検討について

<町村の結果表章>

令和3年3月22日

総務省統計局
統計調査部国勢統計課

1 地方公共団体へのアンケートの実施

前回（第2回）研究会において、市区町村別結果について、一定の精度を確保した表章のために必要な標本調査区数を算出

「人口1万5千未満の町村」の結果表章には、目標精度を10%とした場合でも、平成30年調査実績の約3倍の標本調査区数が必要であり、実査事務負担が著しく増大すること等が判明

このため、これまでの検討結果を都道府県、市区町村とも共有し、都道府県及び市区町村に対し、市区町村別結果表章に関するアンケートを実施

1 地方公共団体へのアンケートの実施

町村に対して以下の事項を照会。都道府県にも同様に照会

<人口1万5千未満の町村>

- 当該町村の結果表章の希望の有無
- 希望する場合、利活用の内容
- 標本設計に関する要望

<人口1万5千以上の町村>

- 引き続き、当該町村の結果表章の希望の有無
- 希望する場合、目標精度は、
 - ・ 5%（市区と同水準）を希望するか
 - ・ 10%（現状維持）を希望するか
- 希望する場合、利活用の内容
- 標本設計に関する要望

2 アンケート結果

(1) 人口1万5千未満の町村

○町村別結果表章の希望の有無

	希望する	希望しない	計
回答数	27	569	596
割合(%)	4.5	95.5	100.0

- ・約95%の町村は、結果表章を希望していない。

○「標本設計に関する要望」(フリー記入)より

- ・調査員の確保が難しく、調査単位区数増は難しい。
(「希望しない」と回答した町村の約3割が回答。「希望する」と回答した町村の約1/4が回答。)

2 アンケート結果

(2) 人口1万5千以上の町村

○町村別結果表章の希望の有無。希望する場合は、目標精度5%（市区と同水準に引き上げ）か10%（現状維持）か。

	希望する (目標精度 5%)	希望する (目標精度 10%)	希望しない	計
回答数	14	149	94	257
割合(%)	5.4	58.0	36.6	100.0

- ・約6割の町村が引き続き、目標精度10%の結果表章を希望。

(2) 人口1万5千以上の町村（続き）

- 「標本設計に関する要望」（フリー記入）より
 - ・調査員の確保が難しく、調査単位区数増は難しい。
（「希望しない」と回答した町村の約3割が回答。
「希望する（目標精度10%）」と回答した町村の約4割が回答。）

2 アンケート結果

(3) 都道府県

○人口1万5千未満の町村別結果表章希望の有無

	希望する	必ずしも希望するものではない	計
回答数	20	27	47
割合(%)	42.6	57.4	100.0

○人口1万5千以上の町村別結果の継続表章希望の有無

	引き続き希望する	必ずしも希望するものではない	計
回答数	39	8	47
割合(%)	83.0	17.0	100.0

2 アンケート結果

(3) 都道府県（続き）

- 「標本設計に関する要望」（フリー記入）より
 - ・ 調査員の確保が難しく、これ以上の調査単位区数増は難しいという意見が11県から出された。
 - ・ 市区町村別は必ずしも必要ないが、人口1万5千未満の町村を含む、県内の広域圏別の結果表章を要望する県が8県あった。

○人口1万5千未満の町村の結果表章は、以下の理由から行わない。

- ・一定の精度を確保した結果表章を行うためには、30年調査実績比約3倍の標本調査区数が必要であるとともに、町村において、相応の統計調査員の確保、事務負担増が免れない。アンケート結果から、統計調査員の確保が困難という意見も多かった。
- ・アンケート結果から、結果表章を希望しない町村は約95%。町村におけるニーズは乏しいものと判断。

- 人口1万5千以上の町村の結果表章は、以下の理由から、目標精度を現状維持の10%と設定し、継続する。
 - ・相応の事務負担増になる、目標精度5%（市区と同水準）となる結果表章を要望する町村は約5%。
 - ・現状維持の目標精度10%の結果表章を要望する町村が約6割。（都道府県においても約8割が継続を要望している。）

○市区における市区別結果表章の利用状況等

	利用している		利用していない		計	
		うち調査員確保困難と意見		うち調査員確保困難と意見		うち調査員確保困難と意見
回答数	488	215	315	146	803	361
割合(%)	60.8	26.8	39.2	18.2	100.0	45.0

- ・ 5 割弱の市区が、「標本設計に関する要望」において、統計調査員の確保が困難であると回答。